

2017 年度

特待生入試 C 日程

憲法問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。（黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。）
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

I. 次の[事実]につき、下記の設問(1)～(3)に答えなさい。解答は、青色の解答用紙(その1)にしるせ。

[事実]

A市は、同市有地をA市内の町内会が所有し集会場等として使用していた建物の敷地として無償で使用させていた。この建物の一角には神棚が設置され、また建物の外壁には「神社」との表示がなされていて、この敷地内には鳥居も設置されていた。

- (1) あなたがA市の住民として、A市の措置が違憲であるとして住民訴訟を提起した場合、どのような憲法上の主張をするか、論じなさい。(400字以内)
- (2) あなたがA市の指定代理人として、(1)の主張に反論する場合、どのような反論をするか、論じなさい。(400字以内)
- (3) 設問(1)の主張と設問(2)の反論に対して、裁判所はどのように判断すべきか、論じなさい。(800字以内)

II. 下記の設問(1)・(2)のいずれかを選択して答えなさい。解答は、茶色の解答用紙(その2)にするせ。両方とも解答した場合は無効となるので注意すること。(500字以内)

(1) 「法の支配」と「法治主義」の異同について説明しなさい。

(2) 裁判員制度について憲法上の問題があるとすれば、それについて説明しなさい。

【以下余白】